

# 金剛寶戒寺便り

<http://www.houkaiji.jp>

平成二十八年三月一日発行 第二十四号

檀信徒の皆さまこんにちは。早朝は一、二度の気温差も敏感に感じます。今年は暖冬と聞いていただけにいつまでも寒さが身に染みるのは私だけでしょうか。「暑さ寒さも彼岸まで」春はそこまで来ています。

二月八日は地域包括センターより三名のスタッフに来て頂き、「認知症サポーター養成講座と介護申請の方法」について講習を受けました。

初めに認知症とは病名では無く、病気の症状の事で、認知症を引き起こす主な病気の説明からお話が始まりました。認知症はお世話をされる側とお世話をする側と有りますが、いずれにしても早い対応と処置が大切との説明でした。現段階では認知症を完治させる薬は無いとの事ですが、早期での投与ほど効果があるとのデータも見せてもらいました。また認知症になっても、自尊心は有るので自尊心を傷つけない、心優しい対応の方法なども教えてもらいました。

誰もがいつまでも健康で長生きを願っている事と思いますが、それを実現されている日本人の第一人者と言えば三浦雄一郎さんだと思います。

三浦さんは富士山の直滑降をはじめ、世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全制覇し、八

十歳にてエベレストの登頂に成功された、プロスキーヤー・冒険家です。最近では某健康食品のCMに出ていますのでご存じの方も多いかと思います。

その三浦さんが九州ブロック大分大会の特別講演に講師として来られます。詳しくは金剛寶戒寺のホームページもしくは別途配布いたします申込用紙をご覧ください。

日にち 七月六日(水) から七日(木)  
時間 午前十一時より受付  
会場 二・c.h.k.o.音の泉ホール  
会費 一万八千円(聴講・懇親会・宿泊)  
一万千円(懇親会まで)  
四千円(聴講のみ)

県外からの参加者もいますので三つのプランが用意されていますが「聴講のみ」でも翌日(七日)の講習を聴講が可能です。他にも多くの演目や講習などが有ります。会場には個人で集合して頂きますので、参加者には交通費として一人当たり千円を金剛寶戒寺から支給致しますので、一人でも多くの方の申込をお願い致します。因みに私は宿泊で出席の予定です。

毎月八日に行っている講習会は四月も行います。四月八日はお釈迦様のお誕生日、灌仏会でもありますので、初めての試みとして私がお話をさせて頂きます。難しいお話は出来ませんが、筆記用具をご持参下さい。

日にち 四月八日(金曜日)  
時間 十五時から十六時頃まで  
場所 金剛寶戒寺本堂に於いて  
演目 「仏教の豆知識」

私達、日本人の生活には長年の仏教的思想と仏教用語が多く用いられています。まずは「仏教とは？」などと言う基本的な事からお話したいと思います。

納骨堂の建設許可が本山や保健所からおりました。早ければ今月、遅くとも来月には着工予定ですので、お盆前には完成すると思います。現段階では永代納骨料を個人型(一人用)は三十三万円、夫婦型(二人用)で六十万円、家族型(六人まで)で百万円をベースに考えています。また、個別ではなく集合での安置も考えています。維持管理費などは頂きませんが三十三年を目安にそれ以降は仏様の下に合祀するか、延長する形式を考えています。質問のある方はお声かけ下さい。

三月は出会いと別れの季節です。卒業や入学、就職や退職などを迎える皆さまおめでとうございます。出会いは「縁」ですが、愛別離苦の別れによって頂く「縁」もあります。

「縁起」も「因縁」もお釈迦様の気づかれたお覚りです。今回の納骨堂も無縁者の為の納骨堂ではなく、仏様を中心に相互に合掌をして「無縁仏」を作らない、新たなご縁を生む為のお堂にしたいと思っています。 合掌